

2015年5月25日

東急不動産ホールディングス株式会社

東急不動産ホールディングスグループがお客様と取り組む環境保全 「緑をつなぐ」プロジェクト 累計1,000ヘクタールの森林保全を達成

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:大隈 郁仁)は、グループ各社の商品・サービスのご利用で、お客様と共に取り組む森林保全活動「緑をつなぐ」プロジェクトを、2011年から実施しています。この度、「緑をつなぐ」プロジェクトにおける森林保全の面積が、累計で約1,000ヘクタールに達しましたことお知らせします。

■「緑をつなぐ」プロジェクトとは

「緑をつなぐ」プロジェクトは、東急不動産ホールディングスグループがお客様と一緒に森林を保全*する取り組みです。マンション購入、オフィス利用、リゾート施設利用といった様々なご利用に応じて森林を保全、1,000ヘクタール(東京ドーム200個分)相当の森林保全を目指し活動して参りました。森林から産出された木材は事業で活用し、またお客様へ提供するという循環型サイクルを形成しています。

「緑をつなぐ」プロジェクトホームページ：<http://tokyu-midori.com/>

※持続的な森林機能を保全するためには、適切な整備(間伐、枝打ち、植林等)が必要となります。



「緑をつなぐ」プロジェクト

■事業を通じて環境保全に取り組めます

東急不動産ホールディングスグループのCSRは、CSRビジョン「事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む」という理念に基づき実行されています。「緑をつなぐ」プロジェクトにおいても、事業において保全森林の産出木材利用を進めており、その取り組みは様々に広がっています。

●もりのみやキューズモールBASE（大阪府大阪市）

施設2階のオープンスペースの遊具は、保全森林の間伐材を利用して作られています。

「緑をつなぐ」プロジェクト<東急不動産の商業施設では…>

カード会員おひとりさまあたり1㎡の森林をサポート、環境保全に参加頂く仕組みです。



もりのみやキューズモールBASE



保全森林の間伐材で作成した遊具

●新青山東急ビル（東京都港区）

オフィスビルの施工材料の一部に、保全森林の間伐材を利用しています。

「緑をつなぐ」プロジェクト<東急不動産のオフィスビルでは…>

ワーカーおひとりさまあたり、執務スペースとほぼ同じ面積の10㎡の森林をサポート、環境保全に参加頂く仕組みです。



新青山東急ビル



11階テラスの軒天に間伐材を利用

●東急ハンズ・オリジナル筆記具 HANDS GREEN BRANCH PROJECT: JETSTREAM 複合ペン

オリジナル筆記具の持ち手部分に間伐材を利用しています。

「緑をつなぐ」プロジェクト<東急ハンズのオリジナル筆記具では…>

1本ご購入されるごとに、10㎡の森林をサポート、ご購入・ご使用で環境保全に参加頂く仕組みです。



HANDS GREEN BRANCH PROJECT: JETSTREAM 複合ペン

